

製品名: Iba1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03778**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 17 kDa; Observed MW: 17 kDa

抗原情報

遺伝子名	Aif1
別名	G1; Iba1; AIF-1; AI607846; D17H6S50E
遺伝子 ID	11629.0
SwissProt ID	O70200
免疫原	ヒト Iba1 の合成ペプチド

背景

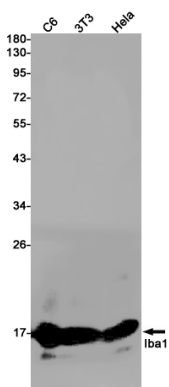
膜の波立ちと RAC の活性化を促進するアクチン結合タンパク質。LCP1 のアクチン束形成活性を増強する。カルシウムと結合す

る。RAC シグナル伝達および貪食作用に関与する。マクロファージの活性化および機能に関与する可能性がある。血管平滑筋細胞およびTリンパ球の増殖を促進する。リンパ球の遊走を促進する。血管炎症に関与する。

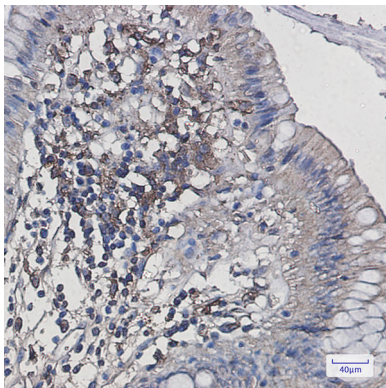
研究分野

細胞生物学

画像データ



Iba1 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の Iba1 のウェスタン ブロット分析。



Iba1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。